

2016年9月26日

アナログ・デバイセズ、新しい中間周波数レシーバ / トランスミッタ
HMC8100/8200 を発表

～モバイル通信インフラストラクチャの信頼性を高め、高品質な通話サービスを実現～

アナログ・デバイセズ株式会社

[アナログ・デバイセズ社](#) (NASDAQ:ADI) は本日、マイクロ波とミリ波を利用する無線通信事業者および通信機器メーカー向けに、信頼性、コスト、製品開発時間を大きく改善する高集積中間周波数(IF)レシーバ / トランスミッタ [HMC8100](#) 並びに [HMC8200](#) を発表しました。多彩な機能が集積された両製品は、従来複数のディスクリート製品を配置していたところを単一製品に置き換え、マイクロ波バックホール機器向けの高性能ソリューションを開発できるようにしたものです。必要部品点数が減少することで設計が簡素化され、より短期間で製品化できるようになります。また、基板の小型化と消費電力の低減により、製品の信頼性が一層高まるとともに、製造コストと運用コストの双方を削減できます。さらに、通信機器の運用上の信頼性が向上する結果、無線通信事業者は自社の加入者に、高品質で利便性の高い携帯電話サービスを提供できるようになります。

最適なアプリケーション (HMC8100/8200 共通)

- ポイント to ポイント通信
- 衛星通信
- ワイヤレス・マイクロ波バックホール・システム

主な機能と特長

- 最大 1024 QAM の変調に対応する高いリニアリティ
- 対応帯域幅 HMC8100 : IF 80MHz ~ 200MHz、RF 800MHz ~ 4,000MHz
HMC8200 : IF 200MHz ~ 700MHz、RF 800 MHz ~ 4,000 MHz
- 小型 LFCSP パッケージ HMC8100 : 6mm x 6mm、HMC8200 : 5mm x 5mm

HMC8100 は中間周波数レシーバで、800～4,000 MHz の RF 入力信号を、140 MHz のシングル・エンド IF 信号に変換して出力します。2 個の可変ゲイン・アンプ (VGA)、3 個のパワー・ディテクタ、プログラマブル自動ゲイン制御 (AGC) ブロック、および帯域幅 14 MHz、28 MHz、56 MHz、112 MHz を選択できるバンドパス・フィルタが集積されています。HMC8100 は、6～42 GHz の標準マイクロ波周波数帯域全てに対応しています。

HMC8200 は中間周波数トランスミッタで、業界標準の 300～400 MHz の IF 入力信号を、800～4,000 MHz のシングル・エンド RF 信号に変換して出力します。-31～+4 dBm の IF 入力範囲で、35 dB のデジタル・ゲインを 1 dB ステップで制御でき、その間アナログ電圧ゲイン・アンプが、トランスミッタの出力パワーを-20～ +5 dBm の間で連続的に制御します。本デバイスにも、3 個のパワー・ディテクタが集積されています。

価格と提供時期

下記表中の価格は米国での価格です。

製品	サンプル出荷	量産出荷	1,000 個受注時の単価	パッケージ
HMC8100LP6JE	出荷中	出荷中	19.98ドル	6 mm × 6 mm、 40ピン LFCSP
HMC8200LP5ME	出荷中	出荷中	17.06ドル	5 mm × 5mm、 32ピン KFCSP

【関連資料】

- HMC8100、HMC8200 の製品概要、データシートのダウンロード、サンプル、評価用ボード等の詳細

HMC 8100 <http://www.analog.com/jp/HMC8100>

HMC 8200 <http://www.analog.com/jp/HMC8200>

##

アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズは、半導体製品とソリューションを提供しています。1965 年に設立され、世界をリードする信号処理技術で「アナログとデジタル」「夢と現実」との懸け橋を担ってきました。

「[想像を超える可能性を](#)」という新たなスローガンを掲げ、イノベーションを加速し、ブレークスルーを生むソリューションをお客様と共に切り拓いていきます。<http://www.analog.com/jp>

■本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先■

アナログ・デバイセズ株式会社 広報・宣伝部

電話 03-5402-8270 marcom.japan@analog.com

または
株式会社プラップジャパン 担当:谷本、宮原
電話 03-4580-9109 analogdevices.pr@ml.prap.co.jp